

福田尚代展

水枕 氷枕



この秋、山鬼文庫では、美術家、福田尚代の個展を開催します。会場となる山鬼文庫は築百年を経た金沢町家で、階下には文庫創設者の蔵書約2万冊が私設図書館として公開されています。福田尚代（1967年生）は、消しゴム、鉛筆、原稿用紙などの文具や本を用い、刺繍や彫刻、穿孔といった強迫的な手仕事を通して、言葉をめぐる様々な思索を表出する稀有な美術家で、回文家としても知られています。福田は、金沢で初めてとなるこの個展を山鬼文庫という（場）との出会いから構想しました。昨年の冬、山鬼文庫を訪れた福田は、古い日本家屋の室内を彩る光や陰翳、窓の外を緩やかに流れる浅野川の水音に浸り、幼い頃の記憶や夜に見た夢を呼び覚まされたといいます。思いがけない、自分自身の美術の核心との邂逅でした。

本展では、福田の制作の原点とも言える、消しゴムを使った3部作《漂着物》《残像》《泡とウズラ》を畳の間に広げ、書物の頁を折りたたんだ《翼あるもの》を窓辺にそっと置くことで、自分もかつてその一人であった無数の少女たちが、ためらいがちに、そしてそうとは自覚することなく創作を始める、その刹那を再訪したいと願っています。ホワイトキューブでの展示とは異なり、作品にとって、その原風景とも言える場所に立ち還り、自らの創作の初心に回路をつなぐ。福田の静かな試みは、その懐に幾重にも時間の層を抱く金沢という街にふさわしいものではないでしょうか。この無類の時空間をぜひ山鬼文庫で、堪能ください。



福田尚代展 水枕氷枕

2016年

10月15日(土)～11月21日(月)

午前10時～午後5時

*毎週金曜日～月曜日のみ開廊、
ただし11月3日(木・祝)は開廊

入場無料

協賛：株式会社 資生堂

協力：小出由紀子事務所

「作家と語る」

10月16日(日)午後1時より 山鬼文庫にて

福田尚代

森仁史(山鬼文庫代表)

鷲田めるろ(金沢21世紀美術館キュレーター)

「福田尚代—くぐたなをよ」

1967年、埼玉県浦和市生まれ、埼玉県在住。1992年、東京
藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了。1994年、2000
年、アメリカ合衆国ワシントン州に居住。

主な展覧会に「アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち」
(国立新美術館、2010年)、「福田尚代 慈雨百合粒子—小出
由紀子事務所、2013年」、「秘密の湖—ミューゼ浜口陽ニヤマサ
コレクション、2013年」、「MOTアニュアル2014 フラグメンツ」
(東京都現代美術館、2014年)、「MOTコレクション—コンタク
ツ」(東京都現代美術館、2014年・2015年)、「[Selection:
返礼—複倉康一展]秋山画廊—スペース230ほか、2015年」
、「福田尚代—言葉の在り処—その存在」(うらわ美術館、2016年)。

*図録

本展開催中に発行予定。

A4判16頁

予価 500円

会場にて予約配送を承ります。



I.C.金沢森本・津幡バイパス

会場・主催

山鬼文庫

http://www.sankikunko.com/
〒050-0909
金沢市桜町5-27
電話：076-254-0909

●北陸鉄道バス・金沢駅・武蔵ヶ辻・
香林坊兼六園下経由 90・91・92・
93・94・95番 晩町下車、徒歩5分
●からっとバス・材木戸11
●常盤橋下車
●常盤橋下車

バス
の進行の逆方向に徒歩5分



《翼あるもの「バートルビーと仲間たち」》

2013 頁を折り込まれた書物

撮影：伊奈英次

「MOTアニュアル2014 フラグメンツ」 東京都現代美術館、2014年
(参考図版)

The Winged: "Bartleby & Co."

2013, Book with infolded pages

Photo: Eiji Ina

MOT Annual 2014 FRAGMENTS, Museum of Contemporary Art, Tokyo, 2014
(sample image, not to be displayed)

《塵》2013- 彫刻された活字(参考図版)

Dust 2013-, Sculpted type (sample image, not to be displayed)